

2026年 岩見三内サロン展示ギャラリー紹介

■癒しの展示コーナー (和室での展示作品)

◆日本画 佐藤悟さんの秋の院展作品(4月～11月まで常設展示)

○「静日」(じゅんさい摘み採り) 2022年 秋の院展作品 150号(写真 左)



山本群三種町のじゅんさい沼です。コロナ禍の最後の年で、誰とも会わない独りということを考えさせられました。じゅんさい採りの姿を下でもなく、中間でもなく、上の方に描いたのは、崇める気持ちで描きました。

音もなく、独り黙々とじゅんさい積む姿に肖りたいと思いました。出来れば、秋田の宣伝になればという思いもありました。

○「雨銀河」 2025年 秋の院展作品 150号(写真 右) ※サイズ 180cmX220cm

誰も住んでいない岩見三内の実家の池。雨降りでしたが、降りしきる雨。波紋を見ていると、遠い宇宙の銀河を想像しました。春の院展の絵より、より銀河のような色を積極的に使いました。

◆仙台市武田榮子さんの「作品」(4月～5月中の期間展示)

現在、仙台市に住んでいる仙北市美里町(旧六郷町)出身の武田さん。小学生の頃から絵を描くのが大好きな子供でした。これまでもカルチャーセンターで習いながら、ふるさとの子供時代を思い出す絵を描いたり、パステル画を習い始めてからは、様々な静物画などを描いてきました。自宅に保管している作品の中から、今回は、6号、8号、10号の10作品を展示しました。6号作品「朝のテーブル」「秋の日」「バラ」「窓辺のバラ」、8号作品「かごの柿」市松人形」「空飛ぶ魔女」「コスモス」「椿」10号「ザクロ」



◆仙台市池田清利さん「葉っぱアート」と「松ぼっくり制作品」も展示予定

◆「音楽会」や録画した「紅白」「大河」のビデオ視聴コーナーも設置。

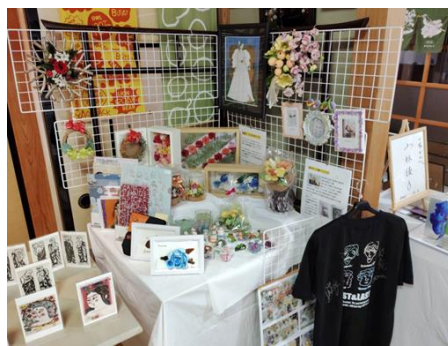
■「平和を考える」展示(4月から11月までの常設展示)

2022年のロシアとウクライナ戦争、2023年のイスラエルのガザ侵攻、今年2026年2月28日のイランへのアメリカとイスラエルの軍事進攻。まさに「世界は戦争の時代」に入ったという心配や懸念の声が広がっています。憲法9条を取り巻く動きの中で、「平和を考える展示コーナー」を仏間に設けました。戦後80年の「旧岩見三内村の戦争」の戦没者写真や調査報告、元中国大使の丹羽宇一郎さんの遺作「Z世代は戦後初めて銃をとる世代になるかもしれない」などのこれまで戦争実態を描いた著書や「歴史学者や社会学者」の新聞投稿記事を読んで頂きながら、「平和を考える声」を81年目の「8.15」に向けて、聞きたいと思います。



■サロン展示ギャラリー作品と音楽イベント集合写真(常設展示)

岩見三内サロンでこれまでの8年間の音楽イベントの集合写真やギャラリー作品などを廊下フロアーや仏間スペースに展示しました。



■サロンでの企画展示の作品を募集します。

6月～7月、8月～9月、10月～11月での作品展示者を募集します。サロンの企画イベントに合わせて展示します。

また、展示希望者の作品の個展開催(平日含む)も可能です。

◆問い合わせ

岩見三内サロン代表 石塚武和(090-5188-6955)

